

終わりよければ・・・ 有終の美を パート1

「メタ認知」を高める働きかけの工夫を

いよいよ、今学期も大詰めとなります。年度当初に「黄金の3日間」の話をしましたが、それに匹敵する位大事な週明けからの一週間です。「いろいろあったけど、いい1学期だった。」と心から思えるような働きかけや工夫をお願いします。

私は相談日を設けたり認め合いカードを書いて渡し合ったり、学校生活全般についての学期のアンケート書かせたりしていました。節目での総括が、クラスとして個人としてできるような取り組みが学級経営に大いに生かされていました。「終わりよければすべてよし」とは、少々無責任な言葉のように聞こえますが、本質をついている言葉でもあります。

ミニ面談

私が学級担任の時、学期末に必ず行っていたミニ面談の取り組みを紹介します。

- 事前にアンケートに記入する方式をとっていました。学習のこと、生活のこと、友達のことなどについて、頑張ったことや次頑張りたいこと、楽しかったこと、悩んだことなど、項目を設けて自由記述にしていました。
- ふだんは相談できない内容も書いてくる子もいるので、様々な視点で児童の理解や課題の早期発見などにも役立ちました。
- 教室で決められた課題を行わせ、廊下に順番に呼んでいました。
- 次学期に頑張ろうという意欲が高まることが目的なので、本人の長所を可能な限り伝えて、「自己肯定感」が高まるような働きかけに徹していました。

「〇〇が出来るようになったことは、もしかしたら、〇〇の力や行動に結び付くかもしれませんね。楽しみだね。見守っているよ」

学年や発達段階、学級の実態応じた工夫をお願いします。頑張ったことやこれからの課題は、価値づけの仕方次第で「メタ認知」を高める絶好の機会となります。